



開校明治七年
開校146年目

宗岡小だより

学校教育目標

自分がすき・友だちがすき・町がすきな宗岡の子

育てる子供像 地域を愛し、誇りをもって、地域に貢献する子供

めざす学校像

「安全・安心できれいな学校」
「子供達一人一人の居場所があり、輝ける学校」

令和2年8・9月号

志木市立宗岡小学校

児童数 456名・学級数 18学級

住所 志木市中宗岡3-1-1

TEL 048-471-0307

9月の生活目標

おちついた

生活をしよう

- ・ろうかやかいだんは右側を歩こう
- ・しずかに話を聞こう。

平和について

校長 石田 賢一

今年も暑い夏が続いています。8月17日には、静岡県浜松市で日本観測史上1位の41.1℃を記録しました。地球温暖化が叫ばれていますが、この夏の異常な暑さも地球温暖化の影響があるのかもしれませんが。

今年太平洋戦争が終結して75年目となりました。8月6日には広島市で、8月9日には長崎市で原爆の犠牲者を追悼する平和祈念式典が開催されました。また、8月15日には終戦の日を迎え、埼玉県独自の高校野球大会や甲子園での交流試合においても正午に試合を一時中断して、戦没者への黙祷が行われていました。これは、昭和20（1945）年8月15日の正午に昭和天皇がラジオ放送を通じて国民に戦争の終結について発表したことが由来となっています。

日本は、昭和20年以來75年もの間、戦争を経験していません。戦後に誕生した日本国憲法には三大原則の一つに平和主義が掲げられ、第9条に戦争放棄が明記されていることが大きな要因であると考えます。それとともに戦争の悲惨さを経験した当時の日本人一人一人が、自分達やその子供や孫が同じ体験をしない世の中を作っていこうと戦後75年間頑張ってきた成果だと思えます。今、生活している子供達は戦争がない平和な日本が当たり前だと感じており、日本が戦争に巻き込まれるということは想像すらできないかもしれません。

今から5年前の戦争終結後70年目の新聞記事には、「戦後70年経過したが、この間に戦争を経験しなかったのは国際連合加盟国193カ国中、アイスランド、フィンランド、スウェーデン、ノルウェー、デンマーク、スイス、ブータン、日本の8カ国だけである。」と書かれています。この記事からも分かる通り、「戦争がない平和な生活」というのは世界的にみると当たり前ではなく、戦争のない日々を重ねてきている日本はとてすごいということになります。

さて、今年新型コロナウイルスの影響で4月と5月が臨時休業になりました。また、夏休みも大幅に短縮され、日常生活ではソーシャルディスタンスやマスクの着用等の今までと全く違う生活を送らなければならない状況となっています。子供達も今まで当たり前にかげることができなくなり、不満やストレスを抱えていることでしょう。このような経験から子供達は当たり前の生活の大切さや有難さを痛感していると思えます。当たり前の生活を取り戻すためには、一人一人が新型コロナウイルスの正しい知識を身に付け、感染しない・感染させない生活を送らなければなりません。誰かがやってくれるから任せておけばよいではなく、自分自身で考えて行動することが重要です。

平和についてはどうでしょうか。やはり平和も誰かがやってくれるから任せておけばよいではなく、自分自身で考えて行動しなければなりません。

では、平和な世の中を維持するためには何が必要でしょうか。そのためには、私達一人一人が相手を認め尊重することです。そして、意見が対立したときも決して暴力で解決しようとするのではなく、相手の主張・意見を認めながらお互いが納得できる方法をあきらめずに話し合うことが重要です。子供達にも自分と考えが違う友達や自分と違うことをやっている友達を排除しようとするのではなく、お互いの良さを認め合いながら意見を交換し、より良い解決策を最後まであきらめずに考える人間になってほしいと思えます。一人一人が相手を認め尊重することができれば、きっとこれからも日本は平和であり続けるでしょう。